

学 年

低

かん字のふくしゅう (読み・ていがくねん4)

ねん くみ なまえ



つぎの かん字の よみがなを 書きましよう。

① 体()そう()で首()を回()すと、気()もちが()いいな。

② き()ゆう()食()当()番()は、一()し()ゆう()間()で交()たい()する。

③ 犬()が西()む()き()や尾()は東()。前()が北()なら後()ろ()は南()。

④ 谷()川()に小()さ()な魚()が、た()く()さん()お()よ()い()で()い()る。

⑤ 東()京()か()ら()広()し()ま()ま()で()新()かん()線()で()行()こ()う。

⑥ ぼ()く()は、し()ょう()来()、は()つ()明()の()天()才()に()な()る。

学 年

低

かんじのふくしゅう (読み・ていがくねん4)

ねん くみ なまえ



つぎの かん字の よみがなを 書きましよう。

① 体(たい)そ(くび)うで(まわ)首を回すと、気(き)もちが(き)いいな。② き(しよ)ゆう(くとう)食当番は、一(い)し(こ)ゆう間(かん)で交(こう)たいする。③ 犬(いぬ)が西(にし)む(お)き(ひがし)や尾(まへ)は東(きた)。前(うし)が北(みなみ)なら後(うし)ろは南。④ 谷川(たにがわ)に小(ちい)さな魚(さかな)が、た(た)く(く)さんお(お)よ(よ)いで(い)いる。⑤ 東京(とうきやう)から広(ひろ)しま(しん)まで新(せん)かん線(い)で行(い)こう。⑥ ぼくは、し(らい)よう来(らい)、は(めい)つ明(てん)の天(さい)才(さい)になる。

学 年

低

かん字のふくしゅう (読み・ていがくねん5)

ねん くみ なまえ



つぎの かん字の よみがなを 書きましよう。

① かん字の画数を数えましよう。

② 教頭先生の話をして日記に書いておこよう。

③ 木のえだで刀を作つて、はつぱを切る。

④ はりのあなに細い糸を通す。

⑤ 「おには外、ふくは内。せつ分でまめまきだ。

⑥ 正方形、長方形、形のべん強だ。

学 年

低

かん字のふくしゅう (読み・ていがくねん5)

ねん くみ なまえ



つぎの かん字の よみがなを 書きましよう。

① かん字(じ)の画数(かくすう)を数えましよう。(かぞ)② 教頭先生(きょうとうせんせい)の話(はなし)を日記(にっき)に書いておこよう。(か)③ 木のえだで刀(かたな)を作(つく)って、はっぱ(き)を切(き)る。④ はりのあなに細い糸(ほそいと)を通(とお)す。⑤ 「おには外(そと)、ふくは内(うち)。」せつ分(ぶん)でまめまきだ。⑥ 正方形(せいほうけい)、長方形(ちやうほうけい)、形(かたち)のべん強(きやう)だ。

学 年

低

かん字のふくしゅう (読み・ていがくねん6)

ねん くみ なまえ



つぎの かん字の よみがなを 書きましよう。

① 冬に雪がふると、原っぱで雪合せんだ。

② 新しい教科書をもらうので、古いものをかたづけ。

③ 地きゅうには、引力がある。

④ 売店で、新聞とおやつを買う。

⑤ 海に近い公園に、野鳥がたくさん来る。

⑥ テレビのリモコンに電池を入れる。

学 年

低

かん字のふくしゅう (読み・ていがくねん6)

ねん くみ なまえ



つぎの かん字の よみがなを 書きましょう。

① 冬(ふゆ)に雪(ゆき)がふると、原(はら)っぱで雪(ゆき)合(が)せんだ。② 新(あたら)しい教(き)科(ょう)書(か)を(し)も(よ)ら(う)う(の)で、古(ふる)いものをかたづけろ。③ 地(ち)き(い)ゆ(ん)う(り)には、引(いん)力(り)がある。④ 売(ばい)店(てん)で、新(しん)聞(ぶん)と(お)や(つ)を(か)買(い)う。⑤ 海(うみ)に(ち)近(か)い公(こう)園(えん)に、野(や)鳥(ちよう)が(く)た(く)く(さ)ん(ら)来(く)る。⑥ テレビのリモコンに電池(でんち)を(い)入(い)れる。

学 年

低

かん字のふくしゅう (書き・ていがくねん4)

ねん くみ なまえ



() の かん字を書きましよう。

おくりがながいる字は、おくりがなもつけましよう。

①

[] の [] を、たくさん [] 。

(としよし)

(ほん)

(よむ)

(てら)

(もん)

(まえ)

(ゆみや)

(ひと)

②

お [] の [] の [] に、 [] をもった [] がある。

(よる)

(あかるい)

(みち)

(あるく)

③

わたしは、 [] [] [] を [] 。

(うま)

(なか)

(そうげん)

(はしる)

④

[] の せ [] にのつて、 [] を [] 。

(ひがえり)

(くろい)

(いわ)

⑤

[] ツアーで [] [] にのぼりました。

学 年

低

かん字のふくしゅう (書き・ていがくねん4)

ねん くみ なまえ



() の かん字を書きましよう。

おくりがながいる字は、おくりがなもつけましよう。

①

図書室の本を、たくさん読む。

(としよしつ)

(ほん)

(よむ)

(てら)

(もん)

(まえ)

(ゆみや)

(ひと)

②

お寺の門の前に、弓矢をもった人がいる。

(よる)

(あかるい)

(みち)

(あるく)

③

わたしは、夜 明るい 道 を歩く。

(うま)

(なか)

(そうげん)

(はしる)

④

馬のせ中 につて、草原を走る。

(ひがえり)

(くろい)

(いわ)

⑤

日帰りツアーで 黒い 岩 にのぼりました。

学 年

低

かん字のふくしゅう (書き・ていがくねん5)

ねん くみ なまえ



()のかん字を 書きましょう。

おくりがながいる字は、おくりがなも書きましょう。

①

[]

も

[]

だちも

[]

にしよう。

(じぶん)

(とも)

(たいせつ)

(さんかく)

(ちよつかく)

②

[]

じようぎには、

[]

がある。

(でんき)

(かぜ)

(みず)

(ちから)

③

[]

は、

[]

や

[]

の

[]

でおこせるよ。

(こう)

(てん)

(さゆう)

④

[]

さ

[]

をわたるときは、

[]

をかくにんしよう。

(きようだい)

(こころ)

⑤

ぼくの

[]

は、とても

[]

がやさしいよ。

学 年

低

かん字のふくしゅう（書き・ていがくねん5）

ねん くみ なまえ



（ ）のかん字を 書きましよう。

おくりがながいる字は、おくりがなも書きましよう。

① 自分も友だちも大切にしよう。
(じぶん) (とも) (たいせつ)

② 三角じょうぎには、直角がある。
(さんかく) (ちよつかく)

③ 電気は、風や水の力でおこせるよ。
(でんき) (かぜ) (みず) (ちから)

④ 交差点をわたるときは、左右をかくにんしよう。
(こう) (てん) (さゆう)

⑤ ぼくの兄弟は、とても心がやさしいよ。
(きょうだい) (こころ)

学 年
低

かん字のふくしゅう (書き・ていがくねん6)

ねん くみ なまえ



() のかん字を 書きましょう。

おくりがながいる字は、おくりがなも書きましょう。

(ふゆ)

(ゆき)

(はら)

(ゆきがつ)

①

に

がふると、

つばで

せんだ。

(あたらしい)

(きょうかしよ)

(ふるい)

②

をもらうので、

ものをかたづけろ。

(ち)

(いんりよく)

③

きゆうには、

がある。

(ばいてん)

(しんぶん)

(かう)

④

で、

とおやつを

。

(うみ)

(ちかい)

(こうえん)

(やちよう)

(くる)

⑤

に

に、

がたくさん

。

(でんち)

(いれる)

⑥

テレビのリモコンに

を

。

学 年

低

かん字のふくしゅう (書き・ていがくねん6)

ねん くみ なまえ



() の かん字を 書きましよう。 おくりがなも書きましよう。

(ふゆ)

(ゆき)

(はら)

(ゆきがつ)

①

冬

に

雪

がふると、

原

つばで

雪合

せんた。

(あたらしい)

(きようかしよ)

(ふるい)

②

新しい

教科書をもらうので、

古いものをかたづけ。

(ち)

(いんりよく)

③

地

きゆうには、

引力がある。

(ばいてん)

(しんぶん)

(かう)

④

売店で、

新聞とおやつを

買う。

(うみ)

(ちかい)

(こうえん)

(やちよう)

(くる)

⑤

海

に近い

公園に、

野鳥がたくさん来る。

(でんち)

(いれる)

⑥

テレビのリモコンに電池を入れる。